

第9回 よこはま地域福祉フォーラム



ほら、
よこはまは
あったかい

一人ひとりが大切にされるまちへ



～思いに寄り添い 認めあい 支えあう～

開催要綱

私たちのまち横浜では、普段の暮らしの中で様々な見守り、支えあい活動が育まれてきました。こうした活動を広く共有することで取組の輪を広げ、困りごとを受け止め、支えあえる地域をめざしていこうという思いから始まった「よこはま地域福祉フォーラム」は、今年で9回目を迎えます。

この間、住民による支えあいが着実に積み重ねられてきた一方で、一人ひとりが持つ困りごとや生きづらさ、地域における「つながり」のあり方は日々多様化しています。

そんな今だからこそ、困りごとや生きづらさだけでなく、誰しもが持つ「こうありたい」という思いや希望に寄り添うことのできる地域づくりについて、改めて振り返る機会が求められています。

本フォーラムを通して、誰もが役割や生きがいをもちながら自分らしく暮らすことの大切さを共有し、一人ひとりの暮らしや思いを大切にすることのできる地域づくりのために何ができるのか、皆さんと一緒に考えていきます。

日時
会場

令和6年**12月5日(木)** 10:15～15:45

※受付 9:45 開始

横浜関内ホール (横浜市中区住吉町4-42-1)



▲ 関内ホール アクセス

内容

全体会 (基調講演)

「つながりの中で あたりまえに生きていく」

たんの ともみ

丹野 智文 氏 (おれんじドア 代表)

分科会 (実践報告)

1. 寄り添い 認めあい
自分らしさが輝くまちへ

2. みんなが主役！
つながり 広がる まちづくり

開催
方法

集合型 または 後日録画配信 (You Tube)

※ 録画配信にお申込みをいただいた方には、後日メールにて資料ダウンロード、及び受講に必要なURL・パスワードをお送りいたします。

録画配信期間: **令和7年2月3日(月)～3月26日(水)**

※視聴に関わるインターネット通信費用は、視聴される方のご負担となります。
(基調講演: 1時間30分、分科会: 各2時間30分程度)



手話通訳
あり

対象

- ❖ 横浜市内在住・在勤・在学の方
- ❖ 市内地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会等、地域福祉活動団体関係者の方
- ❖ 社会福祉施設、地域ケアプラザ等、関係機関職員
- ❖ 市・区役所職員、市・区社会福祉協議会職員等
- ❖ 上記に限らず、社会福祉に関心のある方

【主催】横浜市社会福祉協議会 ・ 18区社会福祉協議会

【共催】横浜市健康福祉局 ・ 横浜市こども青少年局

つながりの中で

会場 関内ホール 大ホール

10:30～12:00

あたりまえに生きていく

たんの ともふみ
おれんじドア 代表 **丹野 智文 氏**



毎日、寝て起きること。食事をする。働くこと。遊ぶこと。
そんな「あたりまえ」の日常は、「認知症」という診断によって、
何がどのように変わるのでしょうか。そして、変わらないものとは
何でしょうか。

どんな人も、役割や生きがいを持って、自分らしく笑顔で暮らす
ことのできるまち。そんなまちをつくるためには、どのようなつながり
が必要でしょうか。

若年性認知症当事者の立場から、認知症とともに生きるということ
や、人と人とのつながりの中で生きていく大切さについてご講演を
いただきます。

後半はコーディネーターを交え、「その人らしい暮らしや思いに寄
り添う」ということ、「誰もが安心して認知症になれるまち」とは何か
について考えます。

【講師プロフィール】

2013年アルツハイマー型認知症と診断され、営業職から事務職に異動。
現在もネットヨタ仙台に在職しながら講演など社会的理解を広める活動をしている。
9年前、認知症当事者のための物忘れ総合相談窓口「おれんじドア」を開設。
著書に「丹野智文 笑顔で生きる」「認知症の私から見える社会」ほか。



✧ コーディネーター

宇都宮短期大学
人間福祉学科 教授

みやわき ふみえ
宮脇 文恵 氏

【プロフィール】

東京学芸大学教育学部卒業、日本社会事業大学大学院博士
前期課程修了。現在、宇都宮短期大学人間福祉学科教授。
専門は福祉教育論、地域福祉論。

寄り添い 認めあい 自分らしさが輝くまちへ

会場

関内ホール
大ホール

13:15～15:45

困りごととともに、一人ひとりの「こうありたい」という思いに地域や支援機関が寄り添う、支えあいの取組が育まれています。支える側・支えられる側の垣根なく、つながりの中で誰もが自分らしく暮らすことのできる地域づくりについて考えます。

コーディネーター：同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 永田 祐 氏

瀬谷区

宮上会（宮沢地区町内会）
キャラバンメイト（宮沢地区民生委員）
二ツ橋地域ケアプラザ

“認知症について” 地域みんなで考えよう

～学びから変わる地域の緩やかなつながり～

日中を一人で過ごす認知症高齢者。早朝から近隣への訪問を繰り返していたため、地域住民は関わり方に悩んでいた。町内会と関係機関は「地域で何ができるか」話し合いを重ね、学びの機会を作り始める。

“認知症高齢者が地域で暮らす”ことを町全体で考え取り組んだ事例を紐解き、地域だからこそできる緩やかなつながりについて考える。

都筑区

都田地区 平台町内会
都田地域ケアプラザ
都筑区社会福祉協議会

地域の **みまもり** **やさしさ** **こりつさせない取組**

～買い物支援にとどまらない移動販売～

一人暮らしで在宅酸素の方の困りごとをキャッチしたのは、地域独自の「福祉訪問員」。その困りごとを解決するため民生委員や町内会等とともに移動販売が始まり、単なる買い物支援にとどまらないという気づきが地域の中に広がっていった。

新たな取組をきっかけに地域が少しずつ変わっていく様子を紐解く。

みんなが主役！ つながり 広がる まちづくり

会場

関内ホール
小ホール

13:15～15:45

地域に関わる誰もが地域の一員です。住民、福祉施設、企業などの様々な主体が新たにつながり、ともに地域の課題に向き合うことで、まちづくりの可能性が広がります。それぞれの強みを生かした連携のポイントについて共有します。

コーディネーター：武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 氏

戸塚区

東戸塚地区ハートプラン推進委員会
東戸塚地域ケアプラザ
戸塚区社会福祉協議会

認知症やさしいまなざし あったかハート in 東戸塚

認知症に関する相談が増え、見守りの体制づくりの必要性を感じていたケアプラザ。地域の様々な団体とともに啓発活動を進めることで、ゆるやかに見守りあうまちづくりを目指した住民の活動が動き出した。

自分たちでできることを模索し、仲間を増やしながら取組を進める住民の思いとは。

磯子区

第一生命保険株式会社 横浜総合支社
新杉田地域ケアプラザ
磯子区社会福祉協議会

ゆるやかな見守り「いそまる」 ～企業と地域がつながる仕組み～

企業からの「地域のために活動したい」という相談からスタートした、職務を通したゆるやかな見守り「いそまる」。現在、保険会社、動物病院、タクシー会社、設備会社など、多様な企業が参加し、見守りの取組を行っている。

それぞれの強みを生かした福祉と多業種との協働の仕組みと、そのポイントについて考える。

関内ホールでの参加 令和6年12月5日(木)

URL: <https://x.gd/1205chifuku>

または下記の二次元コードよりお申込みください。



申し込みはこちら

締切 11月5日(火)

天候・災害等でやむをえず中止
をする場合、本会ホームページ
にて、12月5日(当日) 午前8時
までにお知らせいたします。

プログラム

時間	内容	会場
10:15	開会	大ホール
10:30	基調講演	
12:00	休憩	
13:15	分科会1	大ホール
	分科会2	小ホール
15:45	終了	

録画配信での視聴 令和7年2月3日(月)～3月26日(水)

URL: <https://x.gd/chifuku9rokuga>

または右の二次元コードよりお申込みください。

※後日メールにて受講、および資料ダウンロードに必要な
URL・パスワードをお送りいたします。

※配信期間終了の前日、3月25日(火)までにお申込みください。

締切 3月25日(火)



申し込みはこちら

主 催 横浜市社会福祉協議会 18区社会福祉協議会
共 催 横浜市健康福祉局 横浜市子ども青少年局
協 力 神奈川県社会福祉協議会 川崎市社会福祉協議会
相模原市社会福祉協議会 関東学院大学
神奈川大学 鶴見大学 横浜市立大学
(公財) 横浜YMCA
認定NPO法人 横浜移動サービス協議会
(公社) 神奈川県介護福祉士会
(公社) 神奈川県社会福祉士会
(公財) 神奈川新聞厚生文化事業団
(公財) 横浜市男女共同参画推進協会
(一社) 神奈川県介護支援専門員協会
横浜市市民協働推進センター
(一社) ラシク045 (敬称略・順不同)

会場
アクセス

- JR「関内駅」北口 徒歩 6分
- 市営地下鉄「関内駅」9番出口 徒歩 3分
- みなとみらい線「馬車道駅」5番出口 徒歩 5分



〈個人情報の取扱いについて〉

参加申込書に記載された個人情報は、本フォーラムに係る企画、主催者用
参加者名簿の作成・管理等、本フォーラム関連のみの目的で使用するとともに、
本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。

(個人情報保護に関する方針)

→<https://www.yokohamashakyo.jp/kojin-joho/>

横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課

TEL 045-201-2090 FAX 045-201-8385

E-mail chiikifukushi-f@yokohamashakyo.jp<https://www.yokohamashakyo.jp>

横浜市中区桜木町 1-1 横浜市健康福祉総合センター 7階

※「よこはま地域福祉フォーラム」は一部共同募金の配分金で実施しています。

※プログラム中の各表題、登壇者等は変更になる場合があります。ご了承ください。

問合せ
お申込み